

令和7年度 都立高等学校等における 校則等の自己点検及び見直しに係る調査結果について

1 調査の背景

令和7年度の校則等の自己点検及び見直しの取組状況を把握し、公表する。

2 調査対象

都立高等学校、都立中等教育学校及び都立高等学校附属中学校 合計244課程

3 調査期間

令和8年2月27日から令和8年3月13日まで

4 その他

校則等とは校則、生徒心得、生徒規則等と通称される、生徒が遵守すべき学習上、生活上の規律として定められるものを指す。特定の学年、学級、部活動、行事等のみに関する規律は除く。

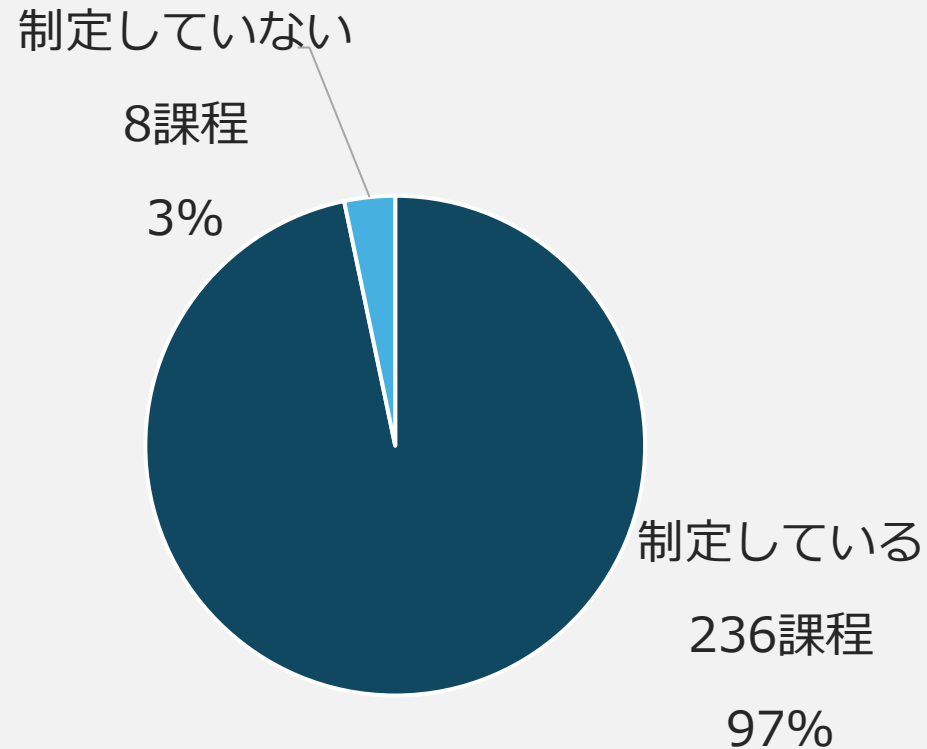
【都立高等学校等における校則等の点検及び見直しに係る視点】

- ① 生徒の人権を保障したものであるか。校則に基づく指導が生徒の人権を保障したものとなっているか。
- ② 内容が社会通念上合理的と認められる範囲であるか。
- ③ 生徒が基本的な生活習慣の確立や社会的に自立するために 必要かつ最小限の規定であり、学校として責任をもって指導することができる範囲か。
- ④ 社会人として必要となる規範意識の醸成のために必要な内容であるか。
- ⑤ 学校の実情、生徒の意見、保護者の意識、社会の状況、時代の進展等を踏まえたものとなっているか。

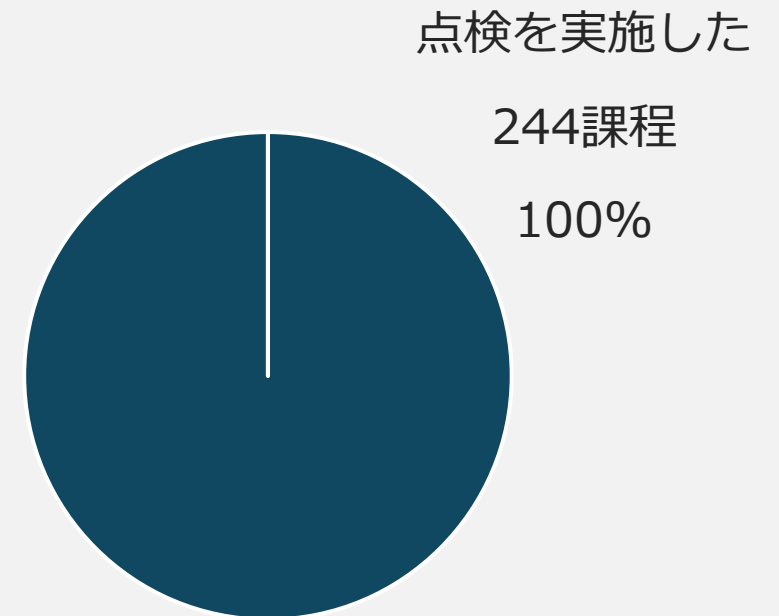
全ての学校において、これらの5項目の視点により点検等を実施し、生徒、教職員、保護者の意見を聞く機会を設定している。

調査結果

1 校則等の制定について

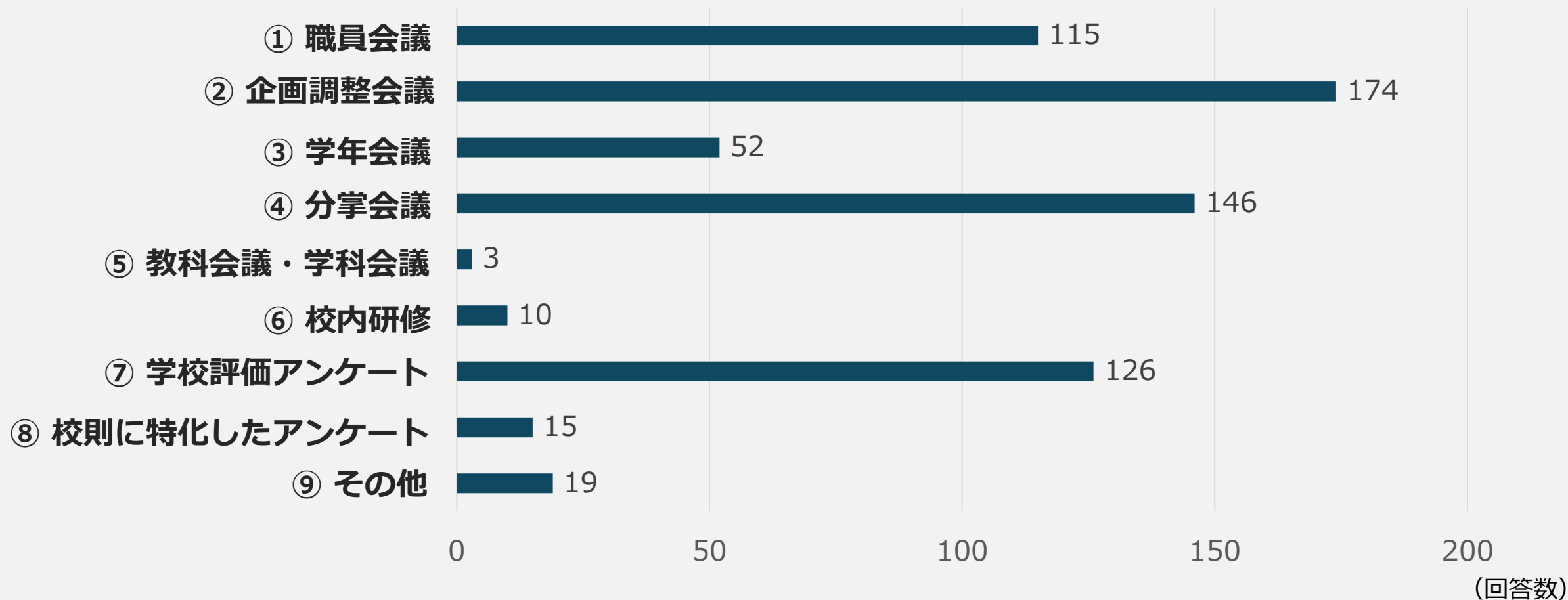


2 校則等の点検の実施



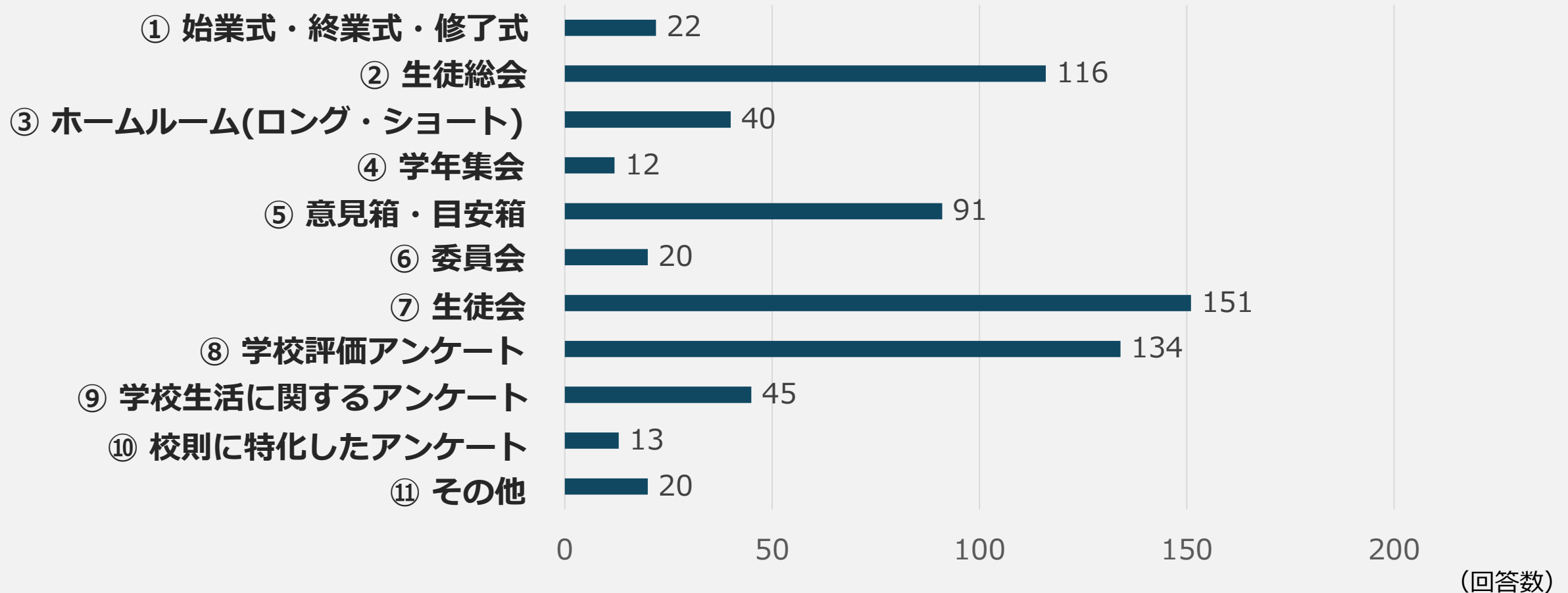
調査結果

3 校則等について教職員から意見を聴取する機会



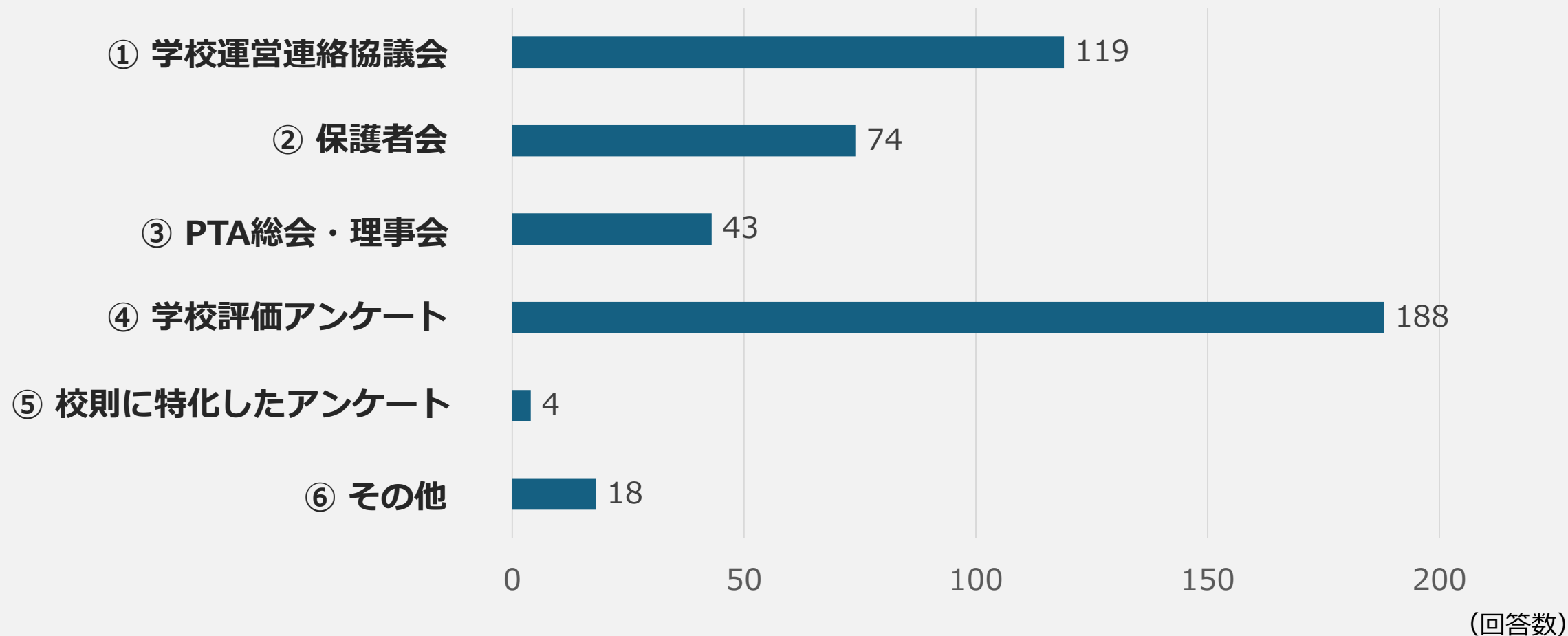
調査結果

4 校則等について生徒から意見を聴取する機会



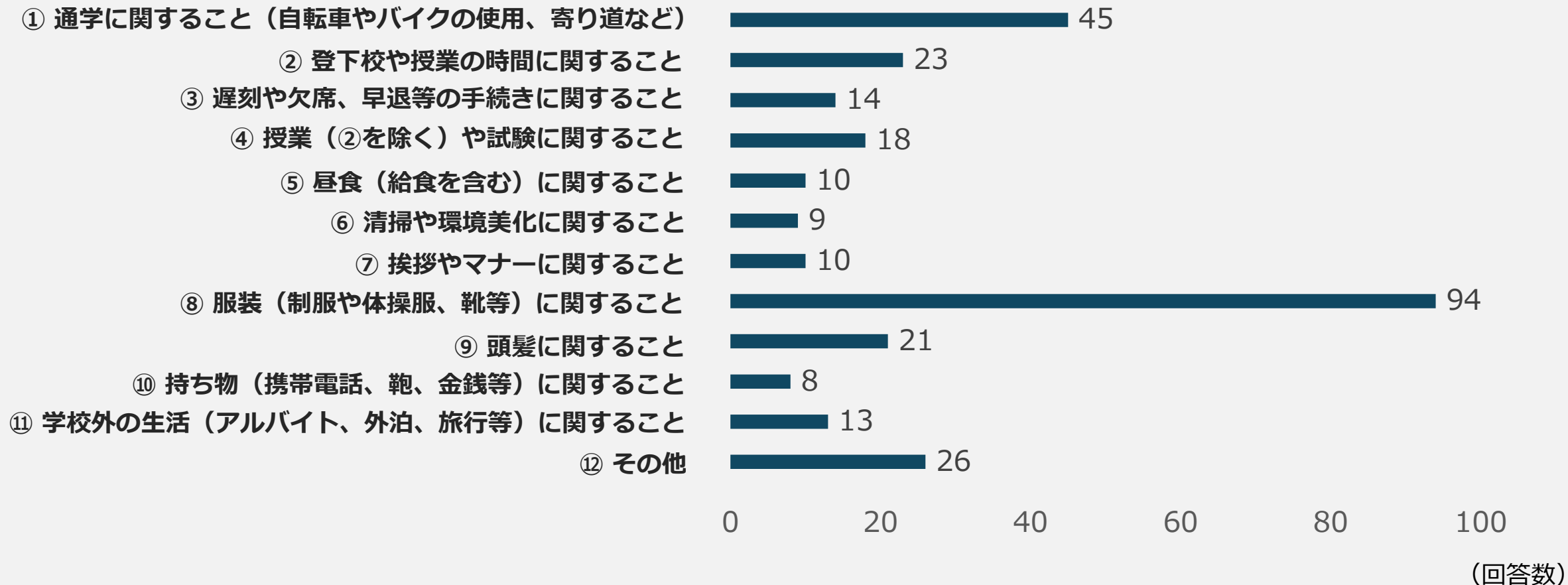
調査結果

5 校則等について保護者から意見を聴取する機会



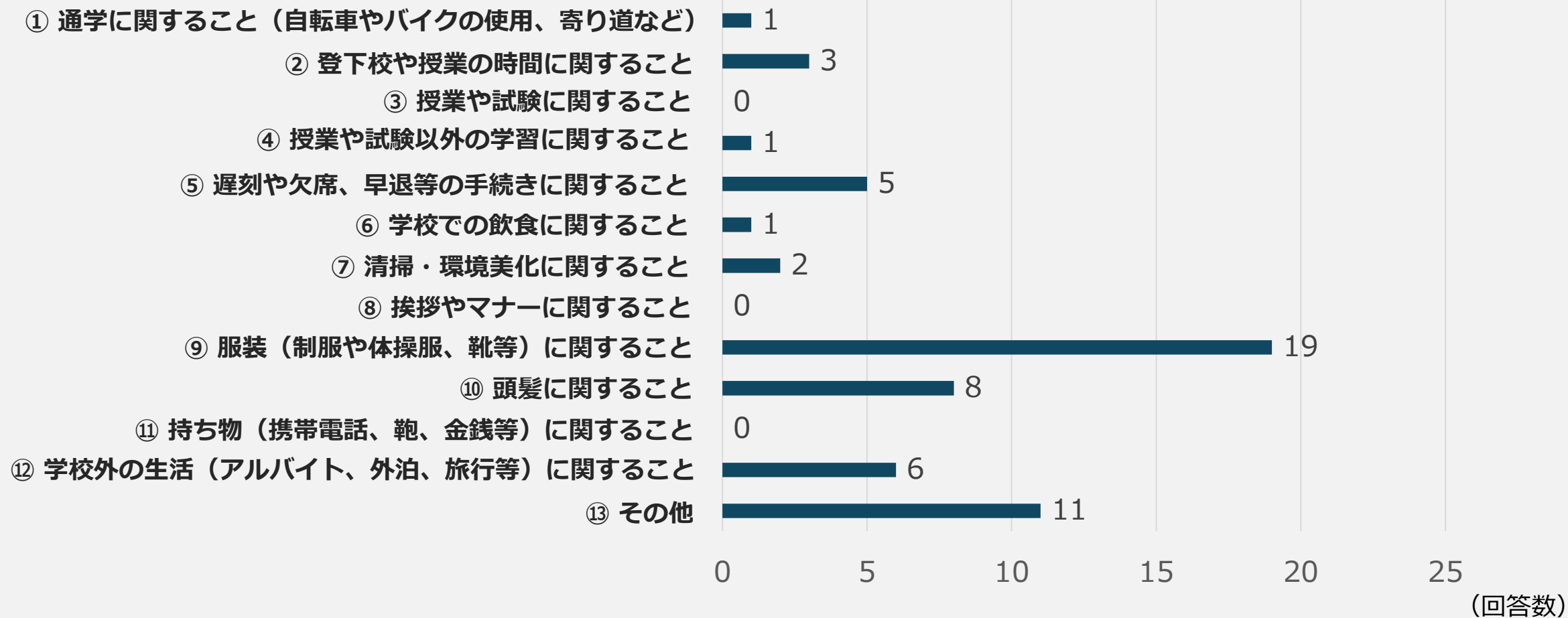
調査結果

6 新たに制定・変更した校則等



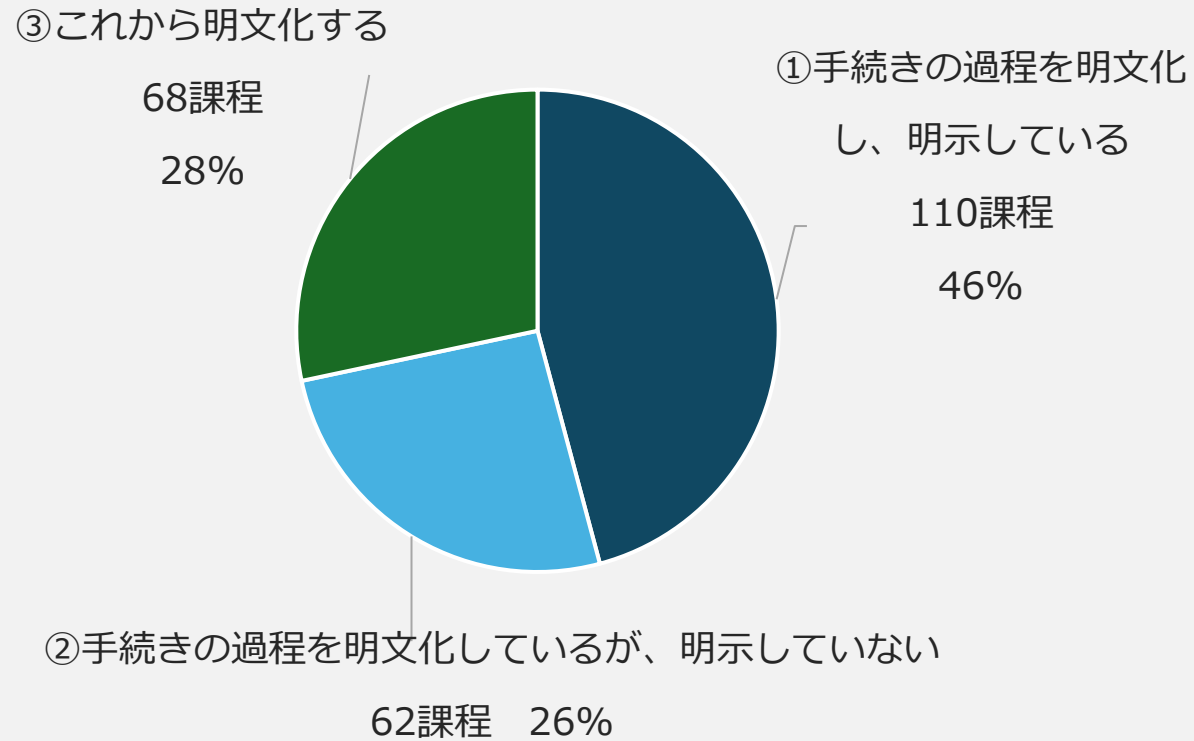
調査結果

7 廃止した校則等

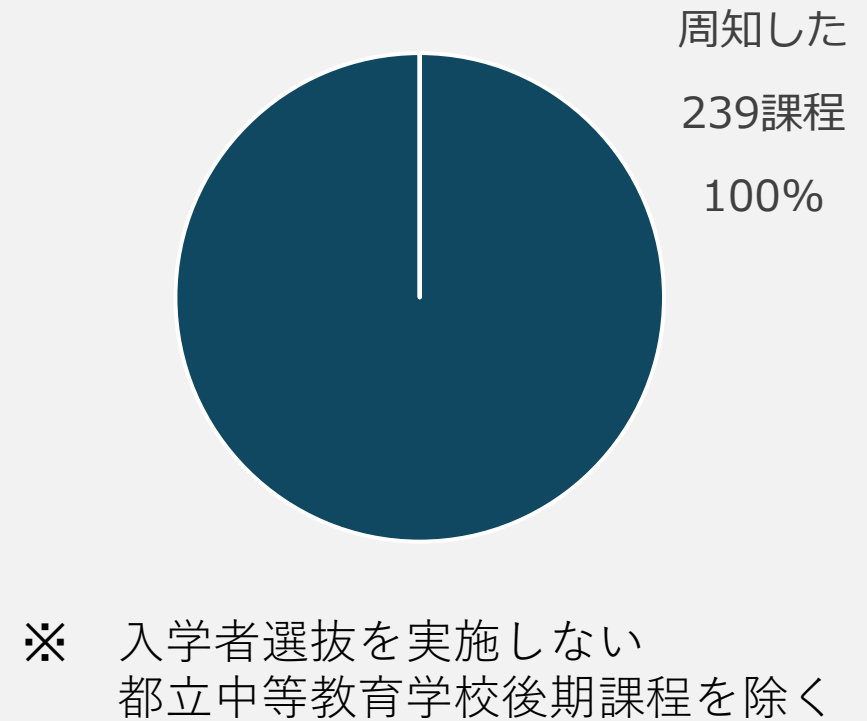


調査結果

8 校則等変更の手続きの明文化について



9 学校説明会等での校則等の周知について



調査結果

10 校則等のホームページへの公開について

